

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

2003年度定時総会報告	1
会員の動き	2
理事会報告 / 海外ニュース	3
委員会報告	4
大学入試事情 < 寄稿 >	5
新・パソコン外論考(其36)	6
出版文化史逍遙(79) 洋書の歴史雑記帳 XXXIV 1...7	

2003年度定時総会

2003年度定時総会は5月16日(金)午後3時45分よりホテル・サンルート東京(東京都渋谷区)にて開催された。

〔出席状況〕	出席	36社
	委任状	25社
	計	61社

正会員65社に対して上記のとおり過半数の出席を得たので、協会規約第5章第30条に基づき総会は成立した。

松浦総務副委員長(丸善)の司会・進行により開会、先ず高橋事務局長より総会成立が報告された後、2002年度中に2社の入会および8社の退会(いずれも正会員)が報告された。

開会の挨拶《要旨》(村田理事長/丸善)

『年初の期待にもかかわらず、景気が回復する兆しが見えません。イラクでの戦闘が短期間で終息したのも束の間、SARSが出現して各方面に大きな影響を与えています。日本経済はまだ長いトンネルの中にあって、出口が一向に見えて来ません。

わが洋書業界もトンネルの直中にあります。昨年度、当協会は2社の新会員を迎えましたが、一方8社が退会されました。退会の理由は様々ですが、洋書業界が大きな転機を迎えていると思います。こういう時こそ、会員の皆様が一致団結して、これからどうあるべきかを真剣にご議論いただくことが必要です。

東京国際ブックフェアでの当協会洋書バーゲンセールは大盛況で、洋書の需要の広がりを実感しました。既に稼働している共同物流やホームページの拡充はもとより、会員企業の発展に役立つ洋書市場動向の情報を共有するための勉強会やセミナーの開催など、地道に活動を重ねていくことが洋書業界活性化につながると確信しています。皆様方の一層のご指導とご支援をお願いいたします。』

理事会報告(渡辺副理事長/洋販)**理事会体制と運営:**

昨年6月に鈴木理事長及び戎井理事長代理が退任され、丸善㈱の村田社長が新しく理事長に、浮田取締役が理事長代理にそれぞれ就任された。また12月に皆川理事が退任され理事会に欠員が生じたが、改選まで短い期間なので補充は行わなかった。その他の理事については特に変更なく、8月を除く毎月、計11回の理事会を開催、毎月の理事会では各理事よりそれぞれ担当委員会活動について報告があったが、その活動内容は「委員会報告」に記載されているとおりである。

事務局長人事:

本年4月に定年を迎えることになっていた事務局長の後任に関して論議した。結論を申しあげると、高橋事務局長の事務能力を高く評価する意見が多く、一旦定年退職した後に引き続き一年契約で事務局長をお願いすることにした。

関西地区会員との交流:

本年2月に事務局長と共に関西に出張し、大阪と京都の会員7社の皆様にお目にかかった。外国雑誌のビジネスがますます厳しくなっている、またアマゾンとの競合の影響がかなり出て来て書籍についても厳しくなっている、さらに、外資に対して消費税の分だけハンディキャップがあることが大きな問題であることなどのお話を伺った。各社悩みを抱えながらも、それぞれ自分の会社の特徴を出して生き残りを計っておられるようである。

今後の課題:

会員の皆さんのメリットになる活動が出来ないか、意見を交換して来た。その内の幾つかを挙げると、会員同志が情報を共有したり、社員教育の一環としてセミナーや勉強会を催すべきである、また東京国際ブックフェアでの洋書バーゲンセール以外の場で「洋書まつり」のような形で会員が共同して洋書売る機会を設けられないか、外国雑誌のバックナンバーを会員同

志で融通し合うことが出来ないか、フランクフルトに
共同のブースを設けてはどうかなどの案も出され、論
議した。この内の幾つかについては新年度の理事会で
引き続き検討していただきたい。

委員会報告：各委員会の活動については総会前に文書
で報告済みであるため、本総会に於いては簡略にとど
めた。

議案審議〔議長：村田理事長〕

【2002年度決算報告】

大倉総務委員長の内容説明の後、平岩監事（アカデ
ミー・ミュージック）及び東條監事（南江堂）より監
査報告があり、採決の結果2002年度決算は承認され
た。

2002年度決算承認を以て理事及び監事の役員任期
が満了となったので、引き続いて役員選挙に移った。

役員選挙

役員選出規定に基づいて投票はすべて郵送により行
われ、本総会前日に選挙管理委員会によって開票・集
計されたので、議場に於いては同委員長により開票結
果が発表された。

〔選挙管理委員会〕（敬称略／五十音順）

委員長：村田新吾〔株〕ゲーテ書房〕

委 員：伊藤道一〔株〕イタリア書房〕

池田篤治〔株〕極東書店〕

臼井英夫〔株〕教文館〕

尾崎繁美〔エイビス ブックセールス株〕

垣屋義孝〔海外新聞普及株〕

小松崎敬子〔株〕絵本の家〕

塚本正広〔有〕インターナレッジ・ブックス〕

鶴 竜次〔株〕東亜ブック〕

沼尻 卓〔株〕三省堂書店〕

事務局：高橋 紘〔協会事務局〕

〔開票結果〕投票総数 47票

（理事・監事共無効投票無し）

〔理 事〕 当 選 丸善株

ユナイテッド・パブリシャーズ・サービス社

株医学書院

日本出版貿易株

ユサコ株

日本洋書販売配給株

株雄松堂書店

次 点 株極東書店

〔監 事〕：当 選 株南江堂

株三省堂書店

次 点 株エル・ダブリュ・ダブリュ医学書院

〔理事長・副理事長選出〕

当選7社による理事会に於いて互選の結果、理事長
社に丸善株式会社（代表：村田誠四郎代表取締役社長）
が、副理事長社にユナイテッド・パブリシャーズ・サ
ービス社（代表：マーク・グresham社長）がそれぞ
れ選任された。理事会が指名する理事候補2社および
各委員会担当については5月28日開催予定の理事会に
於いて決定することとした。

議案審議〔議長：村田理事長〕

村田理事長の再任の挨拶の後、新理事会による
2003年度予算案が上程された。

【2003年度予算提案】

大倉前総務委員長の内容説明の後、採決の結果
2003年度予算は可決、承認された。

以上ですべての議事を終了し、渡辺理事の挨拶を以
て2003年度定時総会を閉会した。

以上

会 員 の 動 き

【経営統合】

旧社名：日本洋書販売配給株式会社

株式会社 タトル商会

新社名：日本洋書販売株式会社（略称：新「洋販」）

住 所：東京都豊島区池袋4 - 32 - 8

サンボウ池袋ビル 3階

代表者（敬称略）：

渡辺 正憲 代表取締役会長

賀川 洋 代表取締役社長兼CEO

異動日：2003年6月2日

【代表者変更】

会員名：株式会社 ミロブックサービス

代表取締役（敬称略）

新 任：堀井 俊之

退 任：堀井 康

異動日：2003年5月

（《詳しくはウェブサイトをご参照ください。》）

理事会報告

5月16日(金)午後3時 - <於ホテルサンルート東京>

1. 本日の総会出席状況に関する事務局長報告を了承した。

正会員数 65 出席 36
委任状 25
欠席 4

2. (株)タトル商会の退会届けを受理した。(5月31日付)

インフォトレーダー(株)より退会の意向がメモにより伝えられたが、正式の退会届けを待って受理することとした。

3. 本総会議事を最終確認した。

新理事会<役員改選後>

1. 当選7社による互選の結果、理事長社に丸善(株)、副理事長社にUPS社を選任した。

2. 指名理事候補社及び担当委員会は5月28日開催の理事会に於いて決定することとした。

5月28日(水)

1. 指名理事を小売業及びレブより選任することとし、候補社の絞り込みを行い、グレシャム副理事長及び高橋事務局長に就任要請を一任した。

2. 委員会担当を以下のとおり委嘱した。

・総務：日本出版貿易(株) 委員長：関口理事代

・会報：(株)医学書院 " 桑原 "

・広報：(株)雄松堂書店 " 鈴木 "

・事業：日本洋書販売(株) " 大倉 "

・ホームページ・ダイレクター：

ユサコ(株) " 山川理事

・文化厚生：UPS社 " グレシャム "

3. その他

事務局長の後任候補選定を急ぐ。



◆ ヒラリー・クリントンの回想録

6月9日に発売された、ヒラリー・クリントンの回想録 Living History は、初日だけで20万部(これは初刷100万部——出版社 Simon & Schuster 発表——の20%にあたる)の販売を記録した。同社は既に30万部の増刷を指示しており、今週中にこれ以上の売上有ると見込んでいる。昨日(6月9日)、Barnes & Noble および B&N.com では合わせて4万部を販売し、ノンフィクション部門におけ同社一日での販売高の記録を塗り変えた。この本はまた、Barnes & Noble のベストセラー第一位でもある。昨日 Barnes & Noble ロックフェラー・センター店(ニューヨーク)では著者サイン会も開かれ、彼女は約450冊にサインした。

PW Daily JUN 10, 2003

委員会報告 <文化厚生委員会>

第109回 72会ゴルフコンペ

2003年5月24日(土) 晴れ

会場：高根カントリー倶楽部

参加者：11名

【成績表】

		グロス	ハンデ	ネット
優勝	西山幸児(西山洋書)	82	9	73
2位	小林謙作(医学書院)	88	9	79
3位	山田勝彦(東京ブックランド)	108	22	86
4位	鶴三郎(東亜ブック)	95	7	88
5位	松浦拓巳(丸善)	97	9	88
ベストグロス	西山幸児(西山洋書)	82		
ドラコン	西山幸児	西山幸児		
	西山幸児	鶴 竜次		
ニアピン	戎井忍治	西山久吉		
	松浦拓巳	和田 茂		

(大洋交易 和田 茂)

JAIP 釣り同好会キス釣り大会

5月24日

暑くも無く、寒くも無く、波も穏やか、JAIP 釣り大会の今回参加者は、総勢16名。天ぷらにしたら美味しいキス釣り大会です。私は、前回（去年の最後のアジ釣り大会）で上位入賞したので、今回も上位入賞めざし、（本心は、今晚のオカズが大量になることを期待しつつ）大会に挑みました。場所は、いつもの茅ヶ崎。

JAIP の釣り大会に参加するようになって、はや2年、初めて参加した時もキス釣りで、散々な成績でした。今回はその時の雪辱戦だと考えていました。キスは、それ程沖合いに出なくても良いので、出航後10分ぐらいですぐ釣りポイントに到着。私のお隣は、UPSの松村氏。今回が初参加の方で、釣りは初めてとのこと。ちょっと先輩気分で錘のつけ方、ハリスのつけ方、餌のつけ方をご説明していざスタート！

くるか、くるか、くるか、と思いつつ、こない、、、周りを見ても、皆あまり釣り上げていない様子。どうも今日のキスはおなが減っていないようだ。たまに、ピクピクッときた時上げてみるとメゴチ（小さなハゼみたいな魚）で、殆ど釣れない。途中から、「今日は、海を眺めに来たんだ。（釣れなくていいんだ。）」と詩

人になったつもりで自分に言い聞かせて糸をたらす。（結局のところ、本当に海を眺めているだけになってしまいました。）

何度かポイントを移動した後、気がつくとお隣の松村氏は10匹、参加者平均で、15～16匹あげている様子、自分は、たったの3匹。（トホホ、、、）結局午後2時半終了で、陸に上がって結果発表。上位は入賞常連者で、独占されました。一位：広瀬（敏昭）氏（大洋交易）、二位：塚本氏（大洋交易）、三位：広瀬（洋子）氏（大洋交易）。全参加者16名で釣り上げたキスは、256匹にもなりました。

確かに、“釣り”というとおじさん臭い感じがしますが、釣り船に乗って沖に出ると、“地球には水がなんて沢山あるんだ”とあらためて感じます。普段、都会で暮らしていると自然と触れ合う機会がないので、こういう時に改めて自然は大きいなと感じます。「釣り大会」と思わずに、「海と戯れる会」と思うとまた違った感動があります。マリンスポーツの一つと考えて、ぜひ若い方にも参加して頂きたいと思います。

大洋交易 榎 半田善彦

2003年度フォーティラブ開催中！

2003年度のフォーティラブ（テニス同好会）は4月に秩父ミュージックパーク（埼玉県秩父市）6月に箱根明神平サニーパークにて開催、大勢の皆様が参加されました。両日とも晴天に恵まれ、昼間はテニス三昧、夜は温泉に宴会と、楽しい合宿でした。昨年度はあいにく雨のため何回かやむを得ず中止になりましたが、今年度は天気予報とにらめっこしながら、また雨の場合のために室内コートの情報も用意して日程を組んでいます。次回は8月ごろ日帰りで近郊にて開催予定です。

多数の皆様にご参加いただけるよう、より楽しい同好会を目指しております。初めての方大歓迎です。（ベテランが丁寧に教えてくれますので……）ご参加の際、交通手段にお困りの場合はご相談ください。その他同好会のことでご質問などありましたら何なりとご連絡ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

フォーティラブ幹事 鶴 竜次〔榎東亜ブック〕

E-mail:tsurury@attglobal.net

大学入試事情

渡辺 治

「・・・以上、学業においては常に上位の成績を収め、生徒会活動、部活動においても積極的に活躍を続け、指導的な立ち場を確立して来ました。この精神力をもって貴学での厳しい学業訓練に耐えられる者と判断してここに推薦いたします。」これは、筆者が公立高校でクラス担任をしていたころに、大学の推薦入学希望者に書いた推薦書の結びである。

大学では厳しい学業訓練があつて当然で、それに耐えられるかどうか、そこが入学希望者を選ぶ基準になる。筆者が担任をしていたのはいわゆる進学校で、日常的に体力、気力、忍耐力を養成するべく厳しい教育活動を展開している。授業内容の充実、教材の精選はもちろんのこと、学校行事に関しても全人格的な成長を促進し、人間的におおらかで、どんな困難にも工夫と努力で立ち向かうことのできるスケールの大きな人物に育てようとさまざまなチャンスを用意して生徒指導にあたっていた。生徒の中で大学への推薦入学を希望する者がいれば、それぞれの大学で必要としている基準に達しているかどうか十分に審査し、高校として自信を持って推薦できる場合に限って上記のような推薦書を作成する。

一般入試の場合は、送り出す生徒ひとりひとりが上記のような各大学の基準に達したかどうかを大学側が正當に評価してくれることと信じて生徒を励まし、試験場に向かわせる。

ところが、最近次のような新聞記事に目が止まった。いや、目が点になった。「入試、予備校におんぶ。60大学が外注」(5月15日、読売)

この60大学の中には国公立大学も複数含まれていると言う。1979年、今のセンター試験の前身、国公立大学共通試験がスタートしたころそれに対する反対論の中に「個々の大学の個性がなくなる」と懸念する声があった。その懸念の出所は主として大学関係者だったと記憶している。筆者もその考え方が自然なものと感じていた。近年、国公立大学も統廃合の時代に入り、個々の大学が個性を主張できない状況もあるが、少なくとも現段階でどういう学生に入ってもらいたい

か、つまり「アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)」を、社会に提示できるチャンスが入学試験ではなかろうか。

それが出題傾向となって見えてくると、受験生はそれに備えて学力をつける。いわゆる「傾向と対策」である。この学力が入学後も役立つことを知っているから彼等は真剣に取り組む。一種の形成的評価がそこにあるわけで、入学前にすでに大学教育が始まっていると考えてよい。大学の特色や教育目標を入試問題に反映させるわけである。だから、独自テストへのこだわりは、高校側から見ると当然のこととして受け入れてきた。最近、一部の都立高校で、都立高校の共通問題に代えて自校問題を出題するようになってきた。

もし、入試の段階で独自性を出す必要がないと言うなら、センター試験だけで済むだろう。アメリカでは全米一斉のSAT(Scholastic Aptitude Test)によって基礎学力を審査し、その上で面接や推薦書によって各大学で必要とする入学者を決めていると言う。そこにアドミッション・ポリシーが反映されている。

大学に代わって入試問題を作成する予備校は、昨今の学生数の減少のあおりを受けて経営戦略上こうした分野への進出を考えたのであろう。これは一つの営業努力である。それと対照的に大学側は努力を惜しんではいないか。

新聞記事によれば、「入試ミスは年々増加。」していて、「ある私大教授は<問題作成は時間と神経を使い、ミスがあれば責められる。負担感は重い。>と明かす。」筆者も私立高校で入試問題を作成した経験からある程度はこのコメントに同情できる。が、こんな泣き言が入試問題外注の根拠なのだろうか。まさかとは思いますが...

高校での学習内容を熟知して出題範囲を決めることだけでもかなりのエネルギーを必要とするだろうが、それによって受け入れる学生の基礎的な学習範囲を知り、それを受け継ぐ形で大学教育を組み立ててゆくことになるはずだ。入試問題の外注というのは、中学校と高校、高校と大学との間で連係する動きが出て来ている時代の流れにも逆行するように見える。「厳しい学業訓練に耐えられる者」を送り込むのだから、彼等を学問の世界でびしびし鍛えて欲しいものである。

(私立高校英語科講師)

新・パソコン外論考(其36)

宇田川一彦

Thanks for the memory/思い出よ、ありがとう

■(・・子曰、・・求、爾何如、・・、対曰) 比及三年、可使足民也、・・、

'The Master said,"・・・Ch'ih,how about you," "I could,within three years,bring the size of the population up to the adequate level.・・・"

(論語/先進篇・Confucius:The Analects / Book XI)

【超拙意訳(先生が、言われた。冉有、どうする、君は?)「わたしが政治の責任者になったら、3年ぐらいの間に、人民の生活を充足できる水準までに引き上げて見せます。・・・」】

【外注：先進篇の最終章で、この論語なかでも最長文のものです。弟子の4人と孔子がくつろいでいるときの雑談で、もし、1国を治めた際には何をしたいかを尋ねた章です。今回は、公西華の話をと・・・】

Web用Browserについて

大手のプロバイダー(筆者契約の)から、ドットコムの方へ移行した方が、メリット大(mailの保管期間延長・量的増大可などの)との連絡を受けました。

17年前の「パソコン通信」時代からの愛用のID「- - @ - -.ne.jp」(10年ぐらい前に変わったと思うが・・)から「- - @ - -.com」に変わるわけです。mailアドレスの変更は、ボチボチ連絡しても可との事でした(旧アドレスで受信し、新アドレスへ転送サービス付)。早速、mailの受信は問題なくできました。が、送信ができないのです。技術担当者に電話で連絡、たぶんmailerの識別の問題だろうとの話。使用中のフリーソフトmailer兼browser(Opera 6.03)を告げました。この旧バージョンを使用例は、少ないとか。取りあえず、技術部宛にmailを送ってみてくれとのことでした。3時間後には、問題解決。そこで、6月上旬に、Operaのversionup(ver.7.03)をしました。プロバイダーとの接続などは問題なく安心しました。旧バージョンよりも使い勝手がよくなった分、操作に戸惑いが・・。旧バージョンは、mailを新規・返信にせよ、作成画面中の「宛先」部分をクリックすると、アドレス一覧がタグとして表示されます。そして該当者欄を選べばよかったのです。ところが、新バージョンは、作成中でこの宛先タグを押しても、アドレス一

覧がでないのです。緊急のmailは、しょうがないので旧バージョンで作成して送信。半日かけて、試行錯誤(古き良き時代は、厚い取扱い説明書を読めばなんとかりましたが)。今のhelp→online manualというのは役に立ちません。言いきっておきます。新バージョンでは、まずアドレス一覧から「選択」して、ダブルクリックすれば、作成画面に入り、アドレスもコピーされている「超便利」方式なのを発見。愕然。

Internetについて(博物館海外編-New York 5-)

▲ニューヨーク・セントラル・パークのイーストサイドには、メトロポリタン美術館(Metropolitan Museum of Art=<http://www.metmuseum.org>)

パークをはさんで反対側のウエストサイドには、アメリカ自然史博物館(American Museum of Natural History=<http://www.amnh.org>)があります。

▲この博物館の、(気分的に)ワンブロック南(実質は5ブロック)には、Dakota Apartmentsが、建っています。最高級アパートというだけあって、半端でない警備体制。警備員がホイッスルを吹きながら、半ば暴力的にひとの往来を制限し、到着した車の整理をしていました。博物館に行くついでに、なんとなくあのJ. Lennon(1940 - 1980)とOno Yokoが住んでいたアパートメントをひと目という野次馬的発想でしたが、この警備体制は、怖いと思いました。

▲アメリカ自然史博物館は、1869年に開館。という、百三十数年前の計算になります。しかし、元号でいうと明治2年。まあ、当初からこの規模でということはありませんが・・。2000年には、81丁目に面して「Frederic Phineas & Sandra Priest Rose Center for Earth and Space(ローズ宇宙センター)」も開館。スケールの一端は、次のようなものです。

学芸員47人・科学研究者200人・博士号研究員/大学院研究員70人。3千200万の標本/遺物。毎年全世界に向けて、約100の研究調査隊を派遣。年間150以上の映画・講義・公演・実演・ワークショップを開催。4階建ての館内は、13の新しい企画展示ホールを含めて、45の展示ホール、6か所あるミュージアムショップ、4か所の博物館フードサービス。無休(感謝祭とクリスマスだけ休館)。入館料一般10ドル。全部見るには、最低3日は必要(と思う)。展示技術を見ると、日本の自然史系博物館のお手本は、「ここだ」と思いました。(この項続く、乞ご期待)

洋書の歴史雑記帳〔XXXIV〕キリシタン版の原書(8) 鈴木 陽 二

長崎(2)

トードス・オス・サントスと長崎氏の城のあった一帯は、現在の桜馬場町や夫婦川町に当たり、この台地は、東隣りにシーボルトが鳴滝塾を開いた鳴滝町、さらに東南に向かって風頭山から天主堂のある大浦に至り、一方西へは長崎くんちで有名な諏訪神社から奉行所の置かれた立山、さらに二十六聖人殉教の地西坂へと続き、長崎の中心街を取り囲んでいる。正に長崎は坂の町である。長崎の夜景は、稲佐山から見るのが定番だが、風頭山から見る夜景もすばらしい。4月上旬のハタ揚げ(風揚げ)は長崎の有名な景物だが、この風頭山に上がる幾つものハタを見ながら、長崎の人々は春が来た喜びを実感したという。長崎の年中行事は多彩で特異だが、江戸時代、キリシタン改めの踏み絵の行事が正月に行われ、絢爛たる衣裳に身を飾って絵踏みする丸山遊女たちの姿を、長崎っ子は競って見物したという。ついでながら、丸山は、平戸瀬戸の急潮が平戸港への入船を難しくしたことから、やや南の川内浦が副港として盛んに利用され、近くの丸山に港町お定まりの遊女町が生まれた。そして後年長崎に移転してからも丸山の名を使ったのだという、島を廻る道路は川内浦の寂れた磯辺を走り、ひっそりと眠っているような漁港にかつてのにぎわいを想像するよすがもない。この近く、かつての隠れキリシタン村宝亀には、100年も前に建てられた赤レンガと白の配色鮮やかな小さな天主堂が山陰にひっそりと立っているが、その清澄な光景を目にし心が締め付けられるような感動を覚えたものだった。平戸島や生月島には、小屋と見まごうような小さな木造の教会が散在していて、その辺りが隠れ切支丹の里だったことを知ると、今でも迫害の悲しさが漂っているような気持ちにさせられる。

さて、トードス・オス・サントス教会が建てられた翌年の1570(元亀元年)に長崎は開港され、それに伴って長い岬の上に新に町が形成された。これが現在の長崎の中心街となるのだが、1580(天正8年)にキリシタン大名の大村純忠の寄進でイエズス会の領地になった頃には、ヨーロッパ風の建物や教会が立ち並び、さながら小ローマのようだったという。16世紀末から17世紀初頭の長崎の教会黄金時代には10以上の教会・聖堂が存在し、その中の1571(元亀2年)に建設

された「岬の教会」は、長崎の中心的な教会としてイエズス会本部が置かれた。この教会は日本風の建物だったといい、場所は現在の県庁の地で、徳川時代には西役所(奉行所)がおかれ、幕末にオランダの海軍軍人を招聘して習練を行なった海軍伝習所、オランダ医師ポンベによる医学伝習所などが設けられ、日本における西洋文明摂取の上で大きな歴史を刻んだ拠点だった。かつて海に面していたこの大波止の港には南蛮船が行き交い、天正遣欧使節一行も旅立って行った。この岬の鼻先に1636(寛永13年)に出島が築造されたが、最初の目的はポルトガル人を収容するためだった。

1597(慶長2年)各所にあったセミナリオもコレジオも、またノビシアード(修練所)もすべて長崎のトードス・オス・サントスに移転し、その翌年の1598(慶長3年)には岬の教会に移った。このころより徳川幕府によるキリシタン大追放の1614(慶長19年)までの15年間ほどが、キリシタンにとってもっとも安定した時期で、出版活動もきわだっていた。

長崎における出版の大きな成果の一つ『ぎやどべかどる』については後日述べることにして、ほかの長崎版の重要なものを先に触れておくことにしよう。

『サルバトル・ムンジ』(“SALVATOR MVNDI”「救世主」の意味)は告解の大切さや方法などを説いたもので、1598(慶長3年)にこの長崎で漢字交じり平仮名で印刷された。告解の書は早くから作られ信者にも渡していたようだが(前回の京極マリアの例)、それらは殆ど筆写のものだったと思われ、この出版が始めての本格的な印行本告解書と見られている。

1592(文禄元年)天草で刊行されたローマ字本の『ドチリナ・キリシタン』は、その改訂増補版が長崎で2種類刊行された。1600(慶長5年)刊行のローマ字本“DOCTRINA CHRISTIAN”は現在水府明徳会(水戸)が所蔵し、また同年漢字交じり平仮名の『どちりなきりしたん』(内容はローマ字体と同じ)が長崎頭人総代の後藤宗印によって印刷され、現在はイタリアのカサナテンセ図書館の所蔵になっている。内容は天草で説明したので省略したい。〔参考文献:富永先生古稀記念『きりしたん版の研究』/結城了悟『長崎の教会』/原田伴彦『長崎 歴史旅への招待』〕

(元丸善・本の図書館長)

最新エディトリアルデザイン が、この一冊でまるわかり!

おなじみのあの雑誌から、海外で話題のマガジンまで!



デザイナー必携!

ベストセラーとなった前作、*Issues: New Magazine Design* その人気に応え、続編がついに登場。世界中から優れた雑誌デザインを厳選してオールカラーで幅広く紹介します。その数なんと100タイトル以上。アイデアソースとしてもよし、アートディレクターのインタビューや業界関係者によるエッセイを楽しむもよし。デザイナーはもとより、雑誌愛好者のバイブルがここに登場。

mag Culture
new
magazine
design

edited and designed by Jeremy Leslie

ISBN 1 85669 336 8 ICG-Muse刊
(タテ288mm×ヨコ230mm・176ページ)

オールカラー!

YOHAN

新刊のご案内

www.YOHAN.co.jp

本体価格 **¥3,800** 予価 (7月発売予定)

※仕様等、実物と異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願ひ申し上げます。

洋販(日本洋書販売株式会社) www.YOHAN.co.jp

〒171-0014 東京都豊島区池袋4-32-8サンボウ池袋ビル3F

池袋カスタマーサービス TEL(03)3984-0095~97

川崎受注課 TEL(044)833-0225

FAX(03)3984-0160

FAX(044)822-0413